



事業実施内容

ニジェールでは、首都でも頻繁な停電と高い電力料金に悩まされ、地方では電力へのアクセス自体が困難という状況にあります。このような中、ソーラーシステムへの需要は高まっていますが、住民が求めるテレビや扇風機などの家電製品が安定的に稼働できる高出力なソーラーシステムは、イニシャルコストが高いだけでなく、バッテリー交換費用が高額になることから、普及の妨げとなっていた。我々は、この課題に対して、バッテリー接続不要な太陽光発電システムを活用し、補助事業期間内に、地域住民に知ってもらうための実証事業を地元で実施しました。さらに、所得の多くない事業者への適合性を高めるために初期費用が安い低電圧仕様の開発を行った。



事業成果

実証事業にて、現地パートナーへの継続的な訓練と実技を実施した。これにより、パートナーは太陽光発電に関する理論的な知識だけでなく、現地で実際に適用するための実践的な技術も身につけることができた。実証事業は、太陽光発電の効果と需要を確認するための重要なステップです。高出力システムを求める事業者への試験導入により、太陽光発電の効果を具体的に示すとともに、その導入に対する事業者からの反応や意見を直接得ることができた。開発では、キオスクなど手頃なシステムを求める事業者をターゲットとした、初期導入費用を抑えつつも効率的な低電圧仕様の太陽光発電システムの量産化に向けた道筋をつけることができた。

今後の事業展開

国連開発計画によると、サブサハラアフリカの人口の約半数以上が、未だ電力にアクセスできておらず、電力インフラが不十分な地域も多く存在している。これにより、家庭や企業での電力使用が制限され、経済発展を妨げ、生活の質の低下を招くなど大きな影響を及ぼしている。開発製品による事業可能性はニジェールだけでなく、同様の課題をもった国での事業展開が可能と考えています。電力不足が、深刻な課題となっているアフリカ市場にビジネス機会があるという経営判断のもと、アフリカの人や社会と共に成長を目指すことを目的に、アフリカ市場へ事業展開を目指していきます。